

いなのびと

H27年4月創刊号
発行者 栗谷宗久
編集 まちづくり協議会 広報部
発行部数 400部

まちづくり協議会が

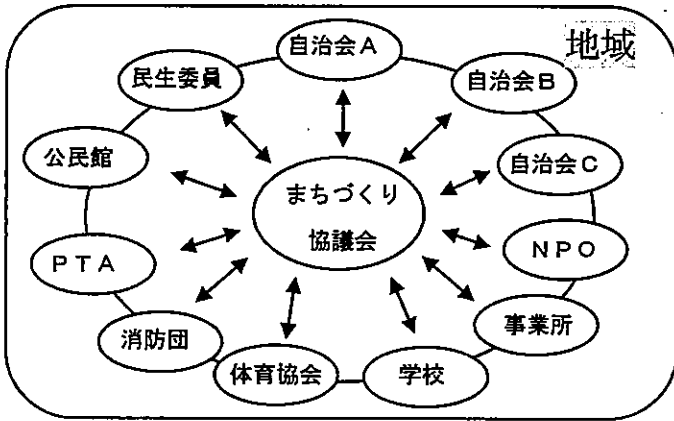
できました

平成二十七年三月十日に伊那佐地区まちづくり協議会設立総会が開催され、賛成多数により協議会が設立されました。まちづくり協議会は一昨年より伊那佐地区連合自治会が主となり検討を重ね、宇陀市内で十六番目の設立となりました。また、去る三月二十一日には設立を記念し、旧伊那佐小学校の東側につぶしの植樹を行いました。



まちづくり協議会は宇陀市全域で旧小学校区を基本に設立されており、「自分たちの地域は自分たちでつくる」という考えのもと、住みよい地域の実現に向け課題を解決していくための組織です。設立に

は地方自治体の弱体化などが背景にはありますが、住んでいる住民だけでなく、伊那佐地区で活動するあらゆる団体が一緒になって、将来ビジョンを策定するのがまちづくり協議会でもあります。



【まちづくり協議会会長あいさつ】

この度、伊那佐地区住民のみならず、まの賛同を得て、伊那佐地区まちづくり協議会を立ち上げることになり

ました。まちづくり協議会は、伊那佐に暮らすすべての人が対象で、住民票の有無に関係なく互いに手を取り合って、助け合っていくこうとする団体です。今後、広報活動を通じて情報発信していきたいと思っております。一人でも多くの方が行事に参加して頂き、交流を深めていけたらと考えています。積極的なご参加をお願い申し上げます。

【会長 栗谷宗久 山路】

【防災・防犯部会】

部会といたしました。まず、防災観点から、安心・安全というスローガンの下、消防団として、住民の生命と財産をまもるといふ郷土愛護の精神は同じであり、今後起こりうるであろう東南海トラフ地震に対して啓蒙・啓発活動を中心に火災・水害・山崩れなどの有事に対して、活動していきたいと思っております。近年に対しては、火災ゼロを目指しております。交通安全観点からは、通学路などでは、特に注意し、交通ルールや交通マナーを厳守するよう、指導しながら交通事故ゼロを目指しています。

【部長 岡野仁志 三宮寺】

【福祉・教育・環境部会】

近年、社会経済情勢が大きく変化しているなか、私たちの地域もま

た同様に、少子・高齢化、核家族や単身世帯も増加し、家族機能の低下、また、支え合う地域のつながりが弱くなりつつあります。

【地域振興・産業・観光部会】

今回の福祉部会としての目標とする地域像を「誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる」とし、「一人ひとりが大切にされ、共に支えあう地域づくり」を活動目標にし、取り組みたいと考えています。皆様方のご協力とご支援をお願いいたします。

【部長 森田伊佐男 比布】

伊那佐という地名が薄れていく中で「伊那佐地区まちづくり協議会」が結成されて、第一歩を踏み出そうとしています。規約によれば、伊那佐地区住民相互の交流と親睦を図る事等が目的として記載されています。これらの目的を達成するため、3つの部会が中心となって種々の事業を行います。三月二十九日の運営委員で、私たち「地域振興・産業・観光部会」では、今後の活動計画について話し合いました。今年度は準備期間として、組織化のための人材発掘と確保、事業を具現化するためのワークショップの開催等の事業を行いたいと思っております。

【部長 奥田博 母里】

【広報したいこと募集】

「いなさびと」の紙面に掲載する情報を募集しております。広く村内に広報することがありましたら、編集部までお寄せください。問い合わせ先は紙面下枠に掲載しております。

【パソコン・スマホ教室開催】

広報部によるパソコン教室を開催します。またあわせて、広報部員の募集も行っております。興味のあるかたはどうぞお越しください。

(日時)五月十一日(月)
十時～十二時

(場所)伊那佐郵人 比布1312

(持ち物)パソコンもしくはスマートフォン、タブレット

(費用)無料(定員)五名

お申し込みは紙面下の連絡先まで。

【編集後記】

広報誌づくりを通じて、伊那佐のことをもっと深く知ることができそうで、とても楽しみです。(栗)

「いなさびと」と題してまちづくり協議会の広報誌ができました。広報部員も募集中です。(松)

まちづくり協議会の広報部員として今後、伊那佐の中を紹介させていただきます。よろしく願います。(吉)

【編集委員】松田麻由子・栗野義典・吉本準司

お申し込み、お問い合わせ等はこちらまで願います。

080-4494-2278(広報担当 松田) Mail: matsuda.mayuko0120@gmail.com